

令和 7年 7月 8日

茨市議会議長 様

会派名 新 翔 会  
氏 名 比企 孝司

### 先進地視察調査報告書

次のとおり先進地視察調査を行ったので報告します。

|             |  |         |      |         |
|-------------|--|---------|------|---------|
| 1. 調査年月日    | 令和 7年 7月 7日（月）から<br>令和 7年 7月 8日（火）まで           |         | 1泊2日 |         |
| 2. 調査先・調査項目 | ① 大阪府池田市「NPO連携教育相談支援事業」<br>② 京都府京都市「高齢者向け住宅施策」 |         |      |         |
| 3. 参加者      | 比企孝司・小林利規                                      |         |      |         |
| 4. 宿泊場所     | 京都府京都市下京区東塩小路町579-16<br>ホテル法華クラブ京都             |         |      |         |
| 5. 費用       | 宿泊費  | 24,200円 | 夕食代  | 4,560円  |
|             | 交通費  | 61,380円 | その他  | 1,100円  |
|             | 土産代  | 5,346円  | 合計   | 96,586円 |
| 6. 調査内容     | 別紙のとおり   |         |      |         |

※上記の先進地視察調査で支出した政務活動費について、全ての領収書またはこれに準ずる書類を添付すること。また、旅行代理店等を通じて手配した旅費、宿泊費等は、その詳細（旅費、宿泊費等の内訳）も添付すること。

広聴会・研修会等（参加）実施報告・先進地視察調査報告

会派名 新翔会

( 1 / 2 頁 )

7月7日(月)大阪府池田市の「NPO連携教育相談支援事業」を行政視察しました。  
会議冒頭に中田正紀議長より温かいご挨拶を頂戴し、心より感謝申し上げます。

この事業は、学校と地域NPOが連携し、不登校や家庭に課題を抱える子どもたちに対して、丁寧な個別支援を行う先進的な取り組みです。

家庭訪問や居場所づくり、専門職による相談対応など、多角的な支援の仕組みが整っており地域全体で子どもの成長を支える姿勢に深い感銘を受けました。

一方、私たちのまち蕨市では、限られた人的・財政的資源の中で学校が懸命に対応していますが、NPOや地域との連携体制はまだ十分とは言えません。

池田市の事例から学べることは多く、蕨市においても地域の力を活かした包括的な支援体制を築くことで、すべての子どもが安心して学び育つまちを目指せると感じました。

また、質疑応答の中で自らの子ども時代を思い出す場面もありました。限られた環境の中でも、恩師の先生方が一人ひとりに心を注いでくださったことが、今も深く印象に残っています。

社会が複雑化し、大人も子どもも生きづらさを抱える今だからこそ、池田市のように地域全体で子どもを支える姿勢がますます重要だと強く感じました。

.....  
7月8日(火)京都府京都市の「高齢者向け住宅施策」を行政視察しました。

京都市では高齢化が全国平均を上回るペースで進む中、「地域包括ケア」の考え方を基盤に、住まいの整備と支援策が充実しています。

例えば、要介護度が高くなっても自立支援を重視しつつ暮らせる「サービス付き高齢者向け住宅(サ高住)」や、段差解消や手すり設置など高齢者が安心して暮らせるバリアフリー賃貸住宅の供給を進めています。

また、高齢者やその家族が住まいや介護について気軽に相談できる「高齢者あんしん相談窓口」の整備や、住み替えを支援する補助制度も用意され、地域全体で高齢者を支える仕組みが構築されています。

一方、私たちのまち蕨市では、介護保険を活用した住宅改修は進んでいるものの、住み替え支援や地域全体での施設整備にはまだ十分とは言えません。今回の視察で得た知見を活かし、蕨市でも高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる仕組みづくりを積極的に検討し、政策提案していきたいと強く感じました。